

平成28年度の 予算編成と 行政執行



奥秋康子議員

高薄町長が町政執行責任者となり、4期目も約1年を残すところとなったが、公約の進捗状況をどのように検証しているか。

また、将来にわたり健全な財政運営を継続するための課題をどのように分析しているか。
以前、将来の試算、負債の適正な管理運営を進める上で指標になる財務書類4表とともに、資産の形成度、住民一人当たりの資産、資産の老朽化比率の情報を開示する新公会計制度の導入を提案したが取り組み状況は。
高薄町長
公約の進捗状況は全てがパーフェクトにできた

とは言えないが、80%を超える事業を展開している。

公共施設の改修や老朽化に関わって、財政の經常的な部分をどう捻出していくかが課題である。

小笠原総務課長

国から公会計の整備が促されており、その前段として固定資産の台帳整備を行い、行政財産の資産調査を実施した。

新年度においては公会計制度による財務諸表を作っていく。

地域医療の あり方

奥秋康子 議員

清水赤十字病院は公的医療機関として、地域医療の確保のために重要な役割を果たしてきているが、国の診療報酬改定と医師不足に伴い、経営環境が極めて厳しい状況にあると聞いている。

地域住民にとって必要

不可欠な病院であると認識しているが、人口の減少に加え、住民の医療選択の幅が広がった。

医師確保対策の必要性

を考えると、地域医療に期待する住民に、必要な医療を地域全体で提供できる体制の構築を、清水赤十字病院と町がタッグを組んで検討すべきだと考えるがいかがか。

高薄町長

今後の地域包括ケアシステムの中でも議論していかねければならない。

西部3町の医療体制をどのようにしていくかを、今の医療懇談会から前へ進めて、地域医療、福祉の対策会議としてしっかりと位置付けて、全医療機関、全介護福祉施設を含めた、トータルで隙間のない体制をつくる方向で考えていきたい。



出産祝い金 制度の創設



佐藤幸一議員

子育て支援のひとつとして、全国的に「出産祝い金制度」が設けられており、十勝管内でも8町村で実施している。

本町では、紙おむつ購入助成事業や子育てサポート事業などで支援しているが、出産祝い金事業を実施している多くの自治体では、祝い金の一部を地元で使用できる商品券で支給している。

本町でも子育て支援策及び商業振興策として出産祝い金制度を創設するべきと考えるがいかがか。

高薄町長

出産祝い金を検討したが、ほかにやらなければならぬことがあって取り組めなかった。第2

子の保育料無料化、保育所通所バスの運行、学童クラブの育成料無料など、子育て支援には約7千万円を投入しており、理解いただきたい。

町職員採用と 町内定住

佐藤幸一 議員

災害が発生した場合、町職員はいつでも出勤する体制になっている。特に、管理職は指揮監督をする立場になることから、職員採用と町内定住について伺う。

①臨時職員の採用条件には町内定住を規定しているが、正職員は。

②町外から通勤している正職員数と定住市町村は。

③町外から通勤している管理職は何名か。
④定住対策としてさまざまな施策を展開している一方で、職員が町外に定住している実態がある。雇用する立場としての認識は。

高薄町長

①採用試験は十勝町村会で行っており、町内定住は規定されていない。面接試験の際に居住の確認をして、町内に住んでほしいと伝えている。

②町外から通勤している職員は6名で、帯広市から4名、音更町と芽室町から各1名。

③管理職は2名。

④採用の際には町内に住んでおり、諸事情により町外から通勤していることから、強制はできない。

TPPの 影響と対策



桜井崇裕議員

TPPにおける国・道の影響試算が公表された。不安に思う人や逆にチャンスと考える人もいると思うが、町としての考え